

于ム二251

塗装工程改善検討結果(耐酸性試験)

【更新③】

1. 結論
2. 塗膜性能評価方法
 2. 1. 塗板作製条件
 2. 2. 評価方法
3. 塗膜性能評価結果
4. 添付写真

1. 結論

サーモジンチムニ251の塗装工程改善検討として通常より1回少ない2回塗にて10%硫酸浸漬による耐酸性試験を行いました。

その結果、9000時間浸漬後腐食が発生しないことを確認できました。(1000h更新)

2. 塗膜性能評価方法

2. 1. 塗板作製条件

＜基材＞

S P C C - S D (150 × 70 × 2^t m/m)

＜素地調整＞

ブラスト処理

＜塗装方法＞

エアスプレー

＜複合膜作製＞

塗料配合：ベース／硬化剤＝80／20（重量比）

使用塗料	塗装回数	膜厚 (μm ／1回)	中間乾燥	焼成条件
チムニ251	2回	60～70	常温 × 1h以上	100°C × 20min

2. 2. 評価方法

<評価方法>

チムニ 251 黒を塗布した塗板を 10% 硫酸に浸漬させ、
塗板への腐食の有無を確認する。（室温：20～30℃）

<評価基準>

腐食等無きこと



3. 塗膜性能評価結果

チムニ251

項目	2回塗	3回塗
膜厚(μm)	121~139	191~210
外観(9000h後)	腐食なし	-

<耐酸性 (10% H_2SO_4 浸漬 9000h) >

2回塗の塗膜にて腐食はありませんでした。

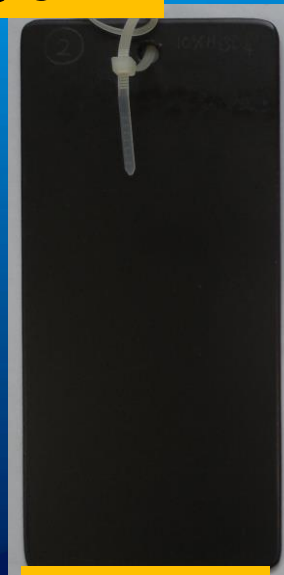
限界測定のため試験は継続中(9000h~腐食するまで1000h毎確認)。

4. 添付写真

2回塗：腐食なし



試験前



9000h